

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 2月29日

事業所名: MUKーむっくー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動ができる十分なスペースを確保しています。勉強や個別の取り組みを集中しておこなえるようにパーティションで仕切る等の工夫をしています。	エアトランポリンなどして、楽しんで良かったです。 はい 13名 いいえ 0名	運動の際は整理整頓をおこない、十分な運動のスペースの確保をおこないます。必要に応じて、マットを用意し安全配慮をおこなっています。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の職員を配置し、支援をおこなっています。	急な時間変更でも必ずお迎えをしてもらえるので良かったです。 はい 11名 いいえ 0名	児童の人数やその日に必要な支援の量に対して、状況に応じた必要な職員を配置していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車いすを使用する利用者が在籍していないため、現在のところ問題はありません。スケジュールボードを使用することで、次の行動が視覚で伝わるような工夫をしています。	はい 14名 いいえ 0名	建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいのが現状です。必要に応じて昇降の補助をスタッフがおこないます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒をおこなっています。運動スペースと学習スペースを分け、活動に取り組みやすい環境を確保しています。	綺麗です。 はい12名 いいえ 0名	継続して、清掃、消毒をおこなっていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクルを心掛け、日次で朝礼と終礼等のミーティングをおこなっています。	/	職員全員が共通の意識を持てるよう、意見を出し合い、振り返りをしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は現在のところ実施しておりません。	/	現在は利用者と社内の評価のみとなっていますが、今後の課題として検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月一回、職員全員参加の社内研修をおこなっています。	/	支援の質を高めるよう研修等に努めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用に際しての見学・体験時に保護者面談をおこないニーズの把握、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。	子どもの性格を短期間で理解してもらえ細かく書かれてあり教えてもらえるので助かっています。 はい 16名 いいえ 0名	児童の課題を的確にとらえ、保護者のニーズにこたえられる計画の作成に努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の状況に合わせて適宜作成しています。		随時、児童の状況を見ながら支援や計画を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画等で必要な事項を設定し、日々おこなった支援内容を連絡帳に記入しています。		より細かな項目や支援内容の設定に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用者の状況に適した支援を実施しています。	根気よくやってもらえて今は落ち着きました。 はい 16名 いいえ 0名	児童一人ひとりの目標の達成を目指して支援していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	課題内容や指導の仕方についてミーティングで話し合い、職員全員で共通の目標を持って取り組むことを目指しています。	いつも違うプログラムを考え、次から次にたくさんあるので感謝しています。 はい 16名 いいえ 0名	全ての職員がプログラムの立案に参画し、全体で把握したり修正しながらおこないます。プログラムの目的や児童の様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方をよく話し合っていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日、長期休暇等は外出プログラムを増やし、社会のルールを学ぶ機会づくりをおこなっています。		今後もきめ細やかな支援ができるよう職員で話し合い、支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月ごとに同じ曜日にプログラムが重ならないように細かく調整工夫をしています。必要に応じて新しいプログラムを取り入れています。		プログラムを日替わり、週替わりとなるよう設定しています。また、内容は発達に応じて変化させていきます。新し活動も実施していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時に一日の内容や役割の分担について確認しています。		その日の役割分担を书面化して可視化し、いつでも確認できるようにします。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼時に一日の内容や役割の分担、振り返りなどを話し合い情報の共有をおこなっています。		積極的に職員間で意見を出し合い、より細かい情報の共有をおこなうように努めます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌、行動表、連絡帳のコピー等により、日々の支援の検証・改善につなげています。		より分かりやすく正確な記録の徹底に努めるとともに、記録に基づいた支援の検証や改善をおこなえるようにします。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	概ね6か月に1度、見直しをおこなっています。		職員間で共有した情報をもとに計画の見直しをおこなっていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	最も精通した者が参画しています。		職員全員が児童の状況に精通できるよう一層努力します。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当する児童はいません。		今後の課題として検討し必要に応じて連携について保護者と相談しながらおこないます。
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当する児童はいません。		必要に応じて、主治医の指示書をもとに、緊急時の搬送先などの連絡体制を整えます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童のお迎えの際に申し送りを受けています。		児童が学校と療育を並行して利用できるように日程を調整し、保護者の希望で通学先との連携などをおこなっていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供するための資料を整備しています。		日々の詳細な記録を整理し、保管・管理をしていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	機会があれば積極的に研修等へ参加をしています。		今後も研修等に積極的に参加していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	外出先等で障害のない児童と接する機会がありますが、特別に交流を目的とはしていません。	はい 7名 いいえ8名	各種イベント等へ参加するなどして、障害のない児童と活動する機会を設けていよう努めます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域にかかれた事業の運営	現在のところ地域住民の招待などはおこなっていませんが、見学・体験等は常時おこなっています。		今後の課題として企画・実施できるように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	体験・見学の際や契約時に説明をおこなっています。	助かっています。 はい 16名 いいえ 0名	随時不明な点があれば、職員が説明するようにします。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画作成後、速やかに保護者に提示し、説明を行っています。分かりにくい点があれば随時追加で説明しています。	助かっています。 はい 16名 いいえ 0名	より分かりやすく具体的な説明ができるように努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在のところおこなっておりません。	必要性を感じません。 はい 6名 いいえ 0名	保護者からのご要望があれば、今後の課題として検討します。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や日々の連絡帳、こまめな電話やメール等のやり取りをおこなっています。	成長するにつれて子どもの意思がはっきりし、意思疎通が難しくなったと感じています。 はい 13名 いいえ 0名	今後も児童に対する保護者との共通理解を深められるような関係性の構築に努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に随時対応し、助言をおこなっています。	ショートメール、連絡帳で愚痴を聞いてもらえてうれしいです。こまめに様子や相談に乗ってくださります。 はい 7名 いいえ 7名	支援終了後のフィードバック時に応じることができます。また、必要に応じて別日で相談日を設けていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在のところおこなっておりません。	必要性を感じません。 余裕がありません。 はい 0名 いいえ 16名	保護者からのご要望があれば、今後の課題として検討します。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合、速やかに職員全員で話し合い、問題の原因を解決につなげます。また、苦情対応についての研修をおこなっています。	困ったことがあっても、すぐに返事をしてもらえるので苦情は今までにありません。 はい 10名 いいえ 0名	苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげ、迅速かつ適切に対応しようと努めています。また社内での共有を図ります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	直接お話しする機会を作ることが難しい保護者には、メールや電話、連絡帳での対応をおこなっています。	はい 14名 いいえ 0名	メール、電話、連絡帳等での対応を継続していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月通信を発行し、行事の案内も欠かさず配布しています。	Instagramなどで楽しそうにしているのを見てほっとしています。 はい 14名 いいえ 0名	より細やかな活動概念の発信に向けて、通信やブログ等の内容を充実させていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイル等は鍵付きのロッカーに保管・管理しています。	Instagramではモザイクやスタンプが付いていて助かっています。 はい 16名 いいえ 0名	写真等の取扱いについては個人が特定できないよう加工するなどの管理を徹底し継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に保護者に説明しています。また、研修無等で職員に周知しています。保護者からは問い合わせがあればいつでも説明をおこなっています。	はい 6名 いいえ 1名	今後も周知に努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難場所等の確認は、市が配布している防災マップ(マニュアル)で職員に周知しています。年2回の避難訓練をおこなっています。	よく分かっていないです。 はい 6名 いいえ 1名	今後も避難訓練等を通じて、迅速な対応がおこなえるよう、意識を高めていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修等を行っています。		研修の機会があれば積極的に参加します。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、該当する児童はいません。		今後に向けて職員全員で研修をおこない、整備しています。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントや保護者からの説明を受けて、個別に対応しています。		食物アレルギーのある児童への職員全員の理解が進むよう、研修等をおこなっていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事案が発生した場合はミーティングで話し合い、情報の共有をおこなっています。		日々の中に潜む危険性として職員全員に常に意識付けしていきます。